

石油連盟 2007年 10大ニュース



1. 原油価格 100ドルに迫る

サブプライムローン問題に端を発し投機資金が原油市場にシフト、100ドルを伺う展開に(WTI)

2. 新潟中越沖地震への対応に全力を傾注

被災地の石油製品の安定供給確保と柏崎刈羽原発停止に伴う原重油供給に全力で対応

3. 道路特定財源の一般財源化反対運動

1,035万人を超える反対署名集まり、街頭イベントをはじめとする反対運動を展開「つくる道路はまだある。なければ返せ」

4. 新京都議定書目標達成計画の策定に向けた方向性まとまる

自主行動計画における製油所省エネ目標を改善(現行10%→新目標13%)、また、エネルギー基本計画等でディーゼル乗用車の普及促進が表記され、ディーゼルシフトに向けた動きあり

5. バイオマス燃料導入に向けた着実な対応

- ①1月、バイオマス燃料供給有限責任事業組合(JBSL)を設立
- ②4月、バイオガソリン(バイオETBE配合)を、関東圏50SSで試験販売開始
- ③バイオ燃料導入にあたって、混和業者の登録制など品確法改正の方向性固まる
- ④食糧との競合問題など世界の動きを調査・報告(野村総合研究所レポート)

6. 「エネルギー高度化利用促進法」に向けて前進

石油分科会・需給部会の議論を通じて、全てのエネルギーの有効活用・高度利用の必要性に対する理解深まる

7. 需要減少と輸出の拡大

重油を中心に内需が減少する一方、輸出が拡大

8. アジア諸国との協力体制の機運高まる

エネルギー対話、備蓄融通体制など緊急時対応の検討進む

9. 外資参入

UAE・アブダビ政府系投資機関によるコスモ石油への資本参加、ブラジル国営石油会社ペトロブラスが南西石油の買収を発表

10. 世界石油会議日本国内委員会の再開

石油連盟事務局が日本国内委員会の事務局業務を継承